

4. 財務諸表に対する注記

平成28年3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1) 会計基準について

公益法人会計基準(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) リース取引の処理について…所有権移転外ファイナンス・リース取引

売買取引に準じた会計処理によっている。但し、重要性の乏しいリース取引(1件あたりのリース料総額が300万円未満)は、引き続き賃貸借取引に準じた会計処理によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 車両運搬具、什器備品

固定資産の減価償却方法は、定額法によっている。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	200,000,000	0	0	200,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産定期預金	200,000,000	200,000,000	0	—
小 計	200,000,000	200,000,000	0	—
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	200,000,000	200,000,000	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
車両運搬具	1,506,190	1,506,188	2
什器備品	2,405,500	1,607,941	797,559
リース資産	14,659,110	4,106,467	10,552,643
合 計	18,570,800	7,220,596	11,350,204

5. その他

(1) 過年度損益修正損について

前年度において、藤岡市へ減価償却資産の寄附を行ったが、一部未計上の取引があったため、当年度において、「過年度損益修正損63,563円」を計上している。

(2) 前年度の財務諸表の訂正について

前年度において、他会計振替額に誤りがあったため、前年度の正味財産増減計算書内訳表を訂正するとともに、当年度の正味財産増減計算書内訳表の「一般正味財産期首残高」の内訳を訂正している。

	訂正前	訂正後	増 減
公1	△ 9,237,185	△ 8,976,221	260,964
取1	6,513,471	6,252,507	△ 260,964